

志峯



第1号
2023年(令和5年)4月発行
旭川志峯高等学校
旭川市永山7条16丁目
TEL 0166(48)1221
入試部

旭川志峯高等学校

令和五年度入学式

四月十日(月)の十三時三〇分より、一、二六名の新生を迎え、本校の第一体育館において、令和五年度の入学式が挙行されました。旭川志峯高等学校の入学第一期生として堂々と入場する新生の表情は緊張の中にも希望と意欲に満ち溢れていました。菅野秀樹校長先生より、当たり前のことを当たり前に行う、(1)挨拶をしよう (2)身なりを正そう (3)勉強をしよう (4)ネガティブな考えをしよう (5)何事にも挑戦しよう と具体例を示し、「誇りを持てる学校づくりをしていこう。」と話されました。また新生を代表して特別進学コース一組の大森悠斗さん(別海中 中央)が、「志峯という言葉には『志を高く持つ教師や生徒が峯のように連なる』という意味が込められています。この言葉の意味のように、今日から始まる高校生活、志を高く持ち、自分の目標に向かって仲間と切磋琢磨をしながらしっかりと成長していきたいと思えます。」と力強く宣言しました。



「志峯高校で頑張ってみよう」

各クラスの代表に決意を聞きました。

◇特別進学コース一年一組

真田 桃花(永山中)
私は勉強が苦手です。なのでまずは勉強方法を確立するところから始めたいと思います。将来助産師になるのが夢なので、なおさらしっかり勉強していきたいです。授業が分かりやすい先生が多いので、どんどん教わって吸収するのが目標です。頑張ります。

◇ライセンコース一年二組

中村 世奈(永山中)
私が志峯高等学校で頑張りたいことは、将来に向けて、少しでも多くの資格・検定を取得することです。これを実現させるためには、時間の使い方を工夫しないとけません。私は時間の使い方がうまくないので、三年間という限られた時間をどう過ごすのかを考えながら一日一日を過ごしていきたいです。

◇スポーツ教育コース一年三組

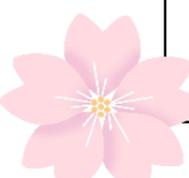
山岸 晴飛(千歳 富丘中)
「走幅跳でインターハイ優勝します。」これは私が志峯高校で三年間、口に出し続け、追いかけて続ける一番の目標です。歴代の先輩方が造り上げた強い旭大高を受け継ぎ、新たな志峯高校として、より素晴らしい高校造りに貢献したいです。そのために部活動だけでなく、学業や人間力の向上に力を入れていきたいです。優しくユーモアのある先生方や常に前を走り、引っ張ってくださる先輩方、同級生と協力しながら、志高く頑張っていきます。

◇スポーツ教育コース一年四組

麻下 友楽(東川中)
私が高校で頑張りたいことは部活と勉強の両立です。部活はバレー部でほぼ毎日あり大変ですが、その中で勉強もしたいといけなないのでどちらとも効率よくし、三年間楽しい高校生活を送っていききたいです。

◇未来創成コース一年五組

石村 優登(永山中)
新しい制服の匂い。夢と希望を持って入学した志峯高校。僕が志峯高校で頑張りたいことは、まず勉強をしっかりするということです。「後でいいや」「明日からやろう」という考えを捨て、思ったことをすぐに取り組むということに体染みつけて学問に励むということです。あとはクラスのみんなと仲良くなって、学校行事を全力で楽しむことです。以上が僕の頑張りたいことです。



部活動紹介

四月十二日(水)の五〜六時間目に今年度の部活動紹介が行われました。昨年甲子園で大阪桐蔭高校と熱戦を繰り広げた硬式野球部をはじめ、陸上部、女子バレー部など全道や全国で活躍している十の体育部、七つの文化部、二つの同好会、そして一つの外局がデモンストレーションや活動内容の説明を工夫して新生にアピールしていました。志峯高校での生活を充実させるためにも、一人でも多くの新生に部活動などに加入してほしいです。



学年集会

四月十一日(火)に各学年の集会が開かれ、菅野秀樹校長先生より志峯高校の校章について、デザインの五つの意味や製作者(美瑛拓真館長 前田景さん)の紹介がありました。また、先生方や生徒に左のような校章のシールが配られ、志峯高校の「誇りプロジェクト 第一弾」として、ぜひ見るところに貼ってほしい、と説明がありました。

